

## いのちを守る、ふるさとの森づくり

3連休最終日となった10月13日、こども園・小学校・中学校が参加し、「東通村小中学校ふるさとの森植樹祭」が開催されました。

植樹会場は東通中学校駐車場の南側斜面で、下北半島の緑をよみがえらせる（ふるさとの森づくり）活動などを行っているNPO法人GEMBUが主催し、東通村教育委員会が共催となり開催したものです。

当日は家族連れなど約160名が参加し、植物生態学の権威である宮脇昭先生の貴重なお話を聞きました。宮脇先生は実体験などを交えながら、東通村の環境に適した、災害に強い、いのちを守る森の大切さを教えてくださいました。

続いて参加者は、GEMBUスタッフのアドバイスを受けながら、ブナ・ミズナラ・イタヤカエデなど15種、計2000本以上もの植樹を行いました。

今回植樹した沢山の木々は、国道338号線から東通中学校を望む道路沿いにあります。

子ども達とともに、ふるさとの森が立派に成長するように、守っていきましょう。



世界各地で植樹活動をしている宮脇先生  
(上段左から2人目)



力を合わせ、2000本以上を植樹しました

## 最新の情報技術を体験！～ユビキタス出前授業「ユビキタス？君なら何する？」～

9月21日（日）に東通村体育館においてユビキタス出前授業が開催され、東通小学校6年生の生徒が参加しました。

生徒たちはグループごとに分かれ最新の情報技術を体験した後、これらの技術を活用するためのアイデアを出し合い、みんなの前で発表しました。

アイデア発表では三村知事の司会のもと、各グループともすばらしいアイデアを発表し、三村知事も生徒たちの豊かな感性と表現力に感心しきりでした。



## 東通村に来て3ヶ月。ただいま奮闘中！

～ 東北電力（株）行政事務研修員 田村一馬さん ～

東通村のみなさん、はじめまして！7月から東通村役場 つくり育てる農林水産課 販売戦略室に勤務している「田村一馬」34歳です。秋田県北沿岸部の三種町出身、青森県には入社してから7年ほど住んでいました。

この村に来て早3カ月、イベントのテント設営から始まり、特産品の直売、観光の案内、寒立馬を探しに山を登ったこともありました。仕事の内容がガラリと変わったこともあり、新鮮な気持ちで業務に取り組んでいます。ただ、来る前に体力をもっと付けておくべきでした…

豊かな自然と美味しい特産品に囲まれた東通村での生活を満喫しながら、ガッチリ仕事に励んでまいりますので、どうぞよろしくお祈りします！

